



日本文化財科学会第 38 回大会 セカンドサーキュラー

2021 年 7 月 15 日発行

日本文化財科学会 会長 泉 拓良
第 38 回大会実行委員会 委員長 亀田修一

1. 開催要項

本大会は、いまだに新型コロナウイルス感染症流行の収束による社会情勢の復帰が見えないため、昨年に引き続きオンライン開催といたします。しかしながら、会員の皆さまからのアンケート結果を受けて、できる限り一昨年までの通常の対面による開催に近い形を模索いたしました。オンライン開催にはなりますが、できるだけ双方向の意見交換を行えるように、口頭発表、ポスター発表、特別セッション、ワーキンググループ会議、企業セミナー、機器・商品紹介を開催いたします。

なお、本大会で参加者は PDF で要旨をダウンロードする事が可能となり、希望者には冊子体（有料）も用意しております。大会実行委員会では万全を期して計画を立てておりますが、万が一ネット上のトラブルが発生する等の場合は、大会実行委員会並びに学会運営会議で協議しながら、何等かの措置を講ずることがありますことを予めご了承ください。

2. 発表形式

[口頭発表]

Zoom を用いたリアルタイムの発表を予定しています。発表時間は 15 分+質疑応答 3 分です。発表者は当日までにスライド（パワーポイント、PDF などのファイル）をご用意ください。発表者の皆様は事前に最新版の Zoom のデスクトップアプリ（ブラウザからの発表は非推奨）をインストールし、大会前週に予定しているリハーサル（接続テスト）にご参加ください。参加登録頂いた参加者には大会ホームページ上で発表視聴に関する情報をお知らせします。

[ポスター発表]

「ポスター掲示+チャットによる質疑応答」の形式を予定しています。発表者には参加登録後、ポスターのアップロードに関する情報（サイズ、貼り付け可能なファイル形式）をお知らせします。参加者には参加登録後にポスター閲覧の方法をお知らせします。大会当日にはポスターセッションのコアタイムを用意しますが、事前にポスターを閲覧し質問を残せるようにもする予定です。詳細は大会ホームページでお知らせいたします。

3. 参加登録

7/22 頃までに日本文化財科学会第 38 回大会ホームページ(<http://www.jssscp.org/2021conf/>)上に大会参加申し込みページへのリンクを設置いたします。そちらから参加登録・参加費決済をしてください。

参加者区分	登録期限
発表者（共同演者は除く）	8/18まで
冊子体要旨集をご希望の方（発表者を含む）	8/18まで
その他の参加者の方（共同演者も）	9/4まで

(9/5以降、新規に参加登録をして頂くことはできません。)

- ☆ 登録は大会ホームページよりご案内するサイトで行ってください。
- ☆ 登録時に決済をしてください。
- ☆ 登録・決済後に大会参加者向けサイト（以下「参加者 HP」）へのご案内をします。
- ☆ 登録には受信可能なメールアドレスが必要です。
- ☆ ログイン情報の交付が必要となるため、ゆとりを持った申し込みにご協力ください。

4. 参加登録費

参加者区分	参加登録費
正会員	4,000 円
学生会員	1,000 円
賛助会員・団体会員（所属の方）	4,000 円
非会員（一般）	5,000 円
非会員（学生）	2,000 円

(冊子体要旨集もご希望の方は大会参加費に冊子体要旨集の代金 3,000 円（送料込み）をご加算下さい。)

- ☆ 決済はクレジットカードのみ対応します。コンビニで販売されているプリペイド方式のクレジットカード（例：Vプリカ）にも対応しています。※
- ☆ 学生資格で参加する方には、登録後に確認させて頂く場合があります。
- ☆ 全ての参加登録者が電子版要旨集（PDF）をダウンロードできます。
- ☆ 冊子体要旨集（印刷物）はご希望の方にのみ有料で販売いたします。
- ☆ 冊子体要旨集をご希望の方は、登録サイトにて「冊子体要旨集希望」を選択のうえ、8/18までに登録・決済をしてください。それ以降はお申込み頂けません。

※大会事務局では支払い情報のみをクレジット会社・信用会社から受け取り、その他金融情報は受け取りません。

5. 大 会

日時：2021年9月18日（土）・19日（日）

会場：オンライン開催

6. 特別セッション

日 時：2021年9月18日（土） 13:00～

テーマ：「災害による文化財被害と 3D 計測」

内 容：Zoom を用いて講演及びパネルディスカッションを行います。一般への配信も行う予定です。

7. ワーキンググループ会議

口頭発表、ポスター発表の枠組みに加えて、テーマ別に会員が自由に討議できるイベントです。本大

会では大会 1 日目の 9 月 18 日（土）の特別セッション終了後、Zoom にて開催します。開催時間や参加方法に関する最新の情報は、参加者 HP に掲載いたしますので、ご確認ください。ワーキンググループ会議への参加には、大会への参加登録が必要です。

現在までにお申し込み頂いたグループを下記のとおりご紹介します。

9 月 18 日（土）

16:00-17:00

石造文化財の保存修復ワーキンググループ

企画者：○石崎武志、西浦忠輝、脇谷草一郎、星野玲子

内 容：このWGでは、日本および海外での石造文化財の保存修復に関する取り組み事例、保存修復手法、それぞれの現場での課題などを報告し合い、色々な分野の専門家同士の自由な意見交換により問題の解決へと進めていきたいと考えています。本会議は、ICOMOS の石造文化財の保存に関する科学委員会（ISCS）の会議も兼ねております。今後の活動計画についても議論を行う予定です。広範囲にわたる専門家および学生の参加を期待します。なお、本会議の後に、東アジア文化遺産保存学会WGを、開催する予定です。

文化財科学への量子ビーム応用推進ワーキンググループ

企画者：○田中真奈子、齋藤努、阿部善也

内 容：放射光、中性子、ミュオンといった量子ビームの文化財科学への応用を推進するため「文化財科学への量子ビーム応用推進ワーキンググループ」を開催します。放射光、中性子、ミュオンそれぞれの特徴や分析・解析手法を紹介するとともに、最新の文化財研究成果についても報告します。利用者同士の意見交換や交流に加え、量子ビームの利用に興味・関心をお持ちの方への情報提供やアドバイスも行います。皆さまのご参加をお待ちしております。

17:00-18:00

出土遺物の特性と化学分析の諸問題についてのワーキンググループ

企画者：○田村朋美、渡邊緩子、植田直見、大賀克彦、脇谷草一郎、柳田明進

内 容：文化財分野に蛍光 X 線分析をはじめとした分析装置の導入が進み、多くの分析結果が報告される一方で、出土遺物の劣化特性や分析手法の特性についての理解不足に起因する問題も散見される。今回のワーキンググループでは、出土遺物の分析手法の標準化について議論するとともに、新たな分析手法として、レーザーアブレーション ICP-MS の文化財への応用に向けての現状と課題について報告する。

較正曲線 IntCal20 と樹木年輪

企画者：○坂本稔、箱崎真隆、中尾七重

内 容：較正曲線 IntCal20 には、初めて日本産樹木年輪の炭素 14 年代が採用された。その結果、弥生から古墳に至る時期の形状が変更されるなど、いくつかの重要な改訂が行われている。本ワーキンググループでは主に樹木年輪の立場から IntCal20 の特徴と課題を整理し、次期 IntCal に向けて日本産樹木年輪の測定が必要な時期の設定と、測定方針について情報を共有する。対象

時期は年輪年代法の及ぶ範囲とするが、その延伸の可能性についても議論したい。

18:00-19:00

第5回土器科学分析ワーキンググループ

企画者：○宮田佳樹，西田泰民，中村俊夫，宮内信雄，堀内晶子，吉田邦夫，白石哲也，村本周三，福井淳一

内 容：今回は、2020年11月に採択された、令和2年-6年度文部科学省 科学研究費補助金研究学術
変革領域研究(A)「土器を掘る：22世紀型考古資料学の構築と社会実装をめざした技術開発型
研究」（領域代表者：小畑弘己教授（熊本大学））を紹介致します
(<http://www.fhss.kumamoto-u.ac.jp/archaeology/earthenware/>)。本領域研究の全体概要、及
び、計画研究A01、A03、B01班で行われている各研究トピックスの紹介を行う予定です。

東アジア文化遺産保存学会 日本支部

企画者：○今津節生、高妻洋成、澤田正昭、西浦忠輝

内 容：東アジアの文化遺産は歴史的背景、気象、材質や製作技法などヨーロッパとは異なる点も多い
ので、保存・修復技術においても東アジア独自の創意工夫が必要となります。このような課題
を解決するために、東アジア各国の文化遺産の保存・修復に携わる研究者や技術者・学生が一
同に集まって交流し学び合うことを目的に国際シンポジウムを開催しています。このワーキン
ググループでは2022年8月25日（水）から28日（土）まで、札幌市教育文化会館で開催す
る第8回東アジア文化遺産シンポジウムの準備状況について報告します。なお、今年度も石造
文化財保存修復のワーキンググループと共同で開催します。

8. 企業セミナー、機器・商品紹介

企業主体で機器の紹介、デモやプレゼンを実施して頂くセミナーです。企業セミナーは、18日と19
日の昼休みに実施予定です。詳細は、参加者HPにてご案内します。

【企業セミナー】

大塚オーミ陶業株式会社、株式会社パレオ・ラボ、株式会社三ツワフロンテック

【機器・商品紹介】

コメントテクノロジーズ・ジャパン株式会社、オリンパス株式会社、株式会社パレオ・ラボ

【問い合わせ先】

日本文化財科学会第38回大会実行委員会事務局

E-mail： jssscp2021@googlegroups.com

Tel：086-256-9715、携帯電話（富岡）：090-3746-9731

日本文化財科学会第38回大会実行委員会

委員長：亀田修一*

事務局長：富岡直人*

実行委員：金田明大*** 白石 純* 清家 章** 徳澤啓一* 那須浩郎* 新納 泉**
畠山唯達* 三阪一徳* 光本 順** 守田益宗* 山口一裕* 北原 優*

(*岡山理科大学、**岡山大学、***奈良文化財研究所)

要旨集編集協力：青木智史（天理大学附属天理参考館）